

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0770700748		
法人名	株式会社 エコ		
事業所名	グループホーム 楓の郷 1階		
所在地	福島県須賀川市西田町9-3		
自己評価作成日	平成26年5月19日	評価結果市町村受理日	平成26年10月1日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/07/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人福島県シルバーサービス振興会		
所在地	福島県福島市泉字堀ノ内15番地の3		
訪問調査日	平成26年7月7日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者一人一人の個性や人格を尊重し、その人に合った支援の方法を家族様と相談しながら、職員全員で話し合い、より良い支援につなげていけるような取り組みを行っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

1 事業所はこれまで積み上げてきた認知症ケアの実践経験を活かし、地域におけるケアの拠点となるよう日常的に地域住民と交流している。震災後、市の防災計画に基づく福祉避難所の設置に伴い、在宅での要支援者等の避難所として指定をうけ協定書を交わし地域貢献を行っている。
 2 法人の研修体制が構築されており、全職員が適切に研修の機会が与えられている。職員の資格取得等の支援制度もあり、全職員が資格取得や更なるペルアップに意欲的に取り組んでいる。
 3 全職員が利用者本位のケアにあたっており、利用者の表情は穏やかで明るく、楽しい雰囲気の仕事所である。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を掲示し毎日の引き継ぎ時に唱和し、仕事に対する意欲を引き出すとともに、理念を共有し実践する取り組みをおこなっている。	法人の統一した「理念」と「基本方針」を踏まえ、事業所独自の理念を作成している。常に全職員が理念にうたっている利用者が生きる喜びを感じて暮らせるケアの提供と敬愛の心を持ったケアを実践している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	利用者の散歩を通し、地域住民と交流を図る機会を持っている。また、季節に合わせた行事なども行い交流を推進している。	地域の行事には積極的に参加しており、事業所の行事にも地域住民の参加があり日常的に交流している。中・高校生の職場体験は恒例となっており、利用者の楽しみとなっている。また、ボランティア等も多く受け入れている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	日常の散歩や季節の行事などを通し、認知症であっても普通の暮らしを安心して続けて行けることを利用者家族や地域の方々に理解して頂いている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、事業所の取組内容や具体的な改善課題がある場合にはその課題について話し合い、会議メンバーから率直な意見をもらい、それをサービス向上に活かしている	会議ではホームの現状や取り組みを報告し意見や助言を頂きサービスに活かしている。	定期的開催しており、内容も事業所の状況や事故報告、行事、スタッフの状況報告等となっている。委員からは地域の行事等の情報が多くあり、その参加に対してのアドバイスもある。委員から出された提言等は運営やサービス向上に活かされている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	認定調査や生活保護関連などで日頃から連絡を取り合っている。困難事例などについてはアドバイスを頂いている。	市の担当者とは利用者の状況報告やサービス取り組み状況等を報告し、アドバイスももらっており協力関係を築いている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全職員が、利用者の人権を守るという事を認識し身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	全職員が身体拘束の内容と弊害を認識しており、拘束のないケアを実践している。スピーチロックについても研修会を通して全職員が情報を共有している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止の研修会などに参加し、啓発と予防に向けた取り組みを行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修会などで知識修得の機会は設けているが活用の事例はない。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約・解約や改定などの際は家族様に十分な理解が得られるよう説明を行い納得して頂けるよう努めている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	来所時気軽に相談できる雰囲気づくりに努めるとともに、ご家族の意見や要望を聞かせて頂けるような機会も作っている。意見や要望はスタッフ会議等で話し合い、運営に反映させる取り組みをしている。	家族の意見や要望は面会時や行事参加の折に必ず声をかけ、気軽に何でも言ってもらえるようにしている。室内の温度調整・食事・外出等の日常生活についての要望があり、サービスに活かしている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	スタッフ会議等で職員の意見や提案を聞く機会を設け職員が働きやすく、サービス提供がし易い環境づくりに努めている。	職員の意見等はミーティングや全体会議等で聞く体制となっている。オープンで話しやすい職場環境であり、職員はいつでも気づきや意見を話せる状況である。利用者の介護度の変化に伴い、椅子の形状を利用者の状況にあわせた改善例もある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員一人一人の性格や個々の就労状況の把握を行い、各自が向上心を持って働ける職場環境作りに努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内、社外の研修に参加できる機会を確保している。社員一人一人の性格と力量を把握し一步一步ステップアップできるように取り組んでいる。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他のホームの見学や同業者との勉強会等で情報の交換や交流を行い、利用者へのサービスの向上に役立っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の思いや願いを傾聴し受容することで安心を確保し、お互いの信頼関係作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の今までの苦労や経緯について聞き、不安や要望に耳を傾け、今後のサービス提供につなげていくことで家族との関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人や家族が必要としている支援を見極め、意向を尊重したサービスの提供に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人が自分の感情や意志を表し自己決定しながら、職員とともに支え合いながら暮らしているという関係を築いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の現状を踏まえたうえで、本人と家族の絆を大切にしながら、ともに本人を支えていけるよう努めている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族や友人への手紙や外出、外泊などにより、関係が途切れないよう支援に努めている。	家族の協力を得て、馴染みの理美容室やお店の利用しており、これまでの関係が継続できるよう努めている。また、それ以外の方は訪問理美容室を利用しており、入居後、新しく馴染みの関係を築いている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個々の利用者の性格や状況を把握し、利用者同士の関係を把握しながら、よりよく関わり合い、支え合えるように支援している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後も気軽に立ち寄れるような関係を築き、必要に応じ相談を受けたり、支援できるように努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	全職員が本人の状況や、希望・要望を把握し、ケース会議等で話し合い、本人の思いに沿った日常生活が送れるよう努めている。	職員は利用者の個性や心身の状態に合わせた支援に努めており、日々の支援の中で利用者の思いや意向を把握している。思いを表せない利用者には表情やしぐさから汲み取るように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人が安心して生活できるよう、それまでの生活環境や生活歴等の情報収集を行い、馴染みの暮らしが出来るよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の心身の状態観察を行い記録し、申し送り等で職員全員で現状の把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人の状況の変化を常に把握し、家族や関係者と話し合いながら、現状に即した介護計画を作成している。	利用者・家族の希望、利用者の身体状況を踏まえ、職員で話し合い介護計画を作成している。また、個別記録をもとに定期的にモニタリングを実施し、利用者の状態に即したサービス計画の見直しをしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の暮らしの様子や状態変化、支援を行った結果などをケース記録や日誌に記録し、申し送り等で報告を行って情報の共有に努め、実践や介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族のその時々状況の変化に即した柔軟な支援やサービスが出来るように取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	それぞれの利用者を取り巻く現状と地域資源を把握し安全で充実した日常を送れるよう支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望に即し、通院や往診にてそれぞれのかかりつけ医に受診し、適切な医療が受けられるよう支援している。	利用者、家族の希望するかかりつけ医の受診を支援しており、通院は家族対応となっているが、往診の対応をしている主治医もあり、利用者が適切な医療を受けられる体制となっている。受診結果は「病院診断・服薬記録」で共有している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回の医療連携看護師訪問時はそれまでにあった状態の変化や気づきなどを伝え相談するとともに適切な医療や看護が受けられるように支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院に際しては安心して治療が受けられ、また早期に退院が出来るよう、家族や病院関係者と情報の交換や相談に努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合や終末期のあり方については入居時から家族様などと話し合いを行い、事業所でできることを説明しながら、地域の関係者にも協力を仰ぎ対応を行っている。	「重度化した場合における(看取り)指針及び医療連携体制同意書」をもとに、利用開始時に家族に説明し、事前確認書を得ている。重度化した場合には利用者、家族、医療機関、職員等関係者で十分話し合い、家族の希望に沿って柔軟に対応している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	社内や施設内で定期的な訓練を行い、急変時や事故発生時に備えて実践力を身に付けている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災や地震、水害などを想定した避難訓練を毎月利用者とともにやっている。また定期的な消防署員の指導による訓練も行っている。	火災を想定した避難訓練、通報訓練、消火訓練、消防設備機器操作訓練等を毎月行っており、年一回消防署の立ち会いを得て避難訓練も実施している。また、市の福祉避難所として指定を受け、地域との協力体制を築いている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人の個性や人格を尊重し、声掛けや言葉かけには十分な注意をしながら対応を行っている。	全職員が一人ひとりの人格を大切に利用者それぞれの状況に応じた声掛けや対応を行い、プライバシーを損ねない支援をしている。個人情報の保護についても徹底している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者それぞれが思いや希望を表出できるような関係づくりに心掛け、自己決定しながら生活していけるよう支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人の日常のペースに合わせ希望に沿った生活が送れるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	外出時や入浴時は自分で洋服を選んで頂くなどその人らしい身だしなみやおしゃれが出来るよう支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事に関連した作業を利用者とともに職員が行い、一緒に食事を味わいながら利用者にとって食事が楽しいものになるような支援を行っている	調理の段階から出来ることは行って頂き、楽しく会話しながら食事が出来るように支援している。	食事の準備はできる方が職員と一緒にっており、利用者個々のペースで食事が出来るよう、職員も一緒に食卓を囲み時間を調整しゆったりと完食出来るよう支援している。週1回法人から弁当の配達があり、利用者の楽しみの一つとなっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人の健康状態や水分摂取量、食事摂取量を把握し必要に応じた支援を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後や就寝前にそれぞれの利用者の口腔状態に応じた、口腔ケアの声掛けや介助を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人一人の排泄のパターンや習慣、動作や表情などからトイレのサインを把握し誘導を行い、排泄の自立に向けた取り組みを行っている。	一人ひとりの排泄パターンを把握しており、全職員が排泄のサインを共有し、さりげない言葉かけで排泄の自立を支援している。日中はおむつの使用者はいない。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	体操や散歩など体を動かす取り組みをしており、一人一人の食事・水分摂取量を把握し、個々の状況に応じた支援を行っている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴の際は一人一人の気分や希望に応じ、気持ちの良い時間を過ごせるようコミュニケーションを取りながら支援している。	利用者の希望により入浴支援をしている。拒否者には声掛けの時間帯や職員等を変えて対応している。一人ひとりの入浴後、その都度湯を入れ替えている。また、法人の所有する温泉施設での入浴は好評である。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人一人の心身の状況に合わせ、休息したり安眠できるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書はすぐに確認できるようファイルに綴じ、常に薬の目的や副作用、用法や用量の理解に努めている。症状の変化にも注意しながら医師との連携を図っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人一人の生活歴や力を活かした日常の取り組みを行っている。また嗜好品や楽しみごとにも個々に対応しながら気分転換出来る支援を行っている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	その日の天候や一人一人の状況に応じ外気浴やホーム周辺の散歩を行っている。また家族の協力や地域資源を活用し遠出や外食の機会も設けている。	利用者の希望により、近くの公園等を散歩している。また、事業所の行事としてお花見や紅葉見学等、自然満喫ドライブ等を数多く企画し実施している。事業所の周りでの外気浴は日課となっている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	職員と一緒に買い物に出かけるなど一人一人の希望に応じた支援を行っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族や友人知人との電話の取次ぎや手紙、はがき等のやり取りの際の支援を行っている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	室温や騒音、窓からの日差しなどに常に配慮し、また季節に合わせた飾りつけなどを利用者と一緒に行き、心地よく過ごせるような工夫をしている。	利用者の作品や行事の写真が貼ってあり、利用者の生き生きとした笑顔が多く、温かい雰囲気がうかがえる。また、利用者の願いが書かれた短冊等の七夕飾りが季節を感じさせている。畳のスペースもあり自由に寝転んだり談笑できる空間になっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人で、または気の合う入居者同士で思い思いに過ごせるような居場所づくりの工夫を行っている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室、或いは泊まりの部屋は、プライバシーを大切にし本人や家族と相談しながら、居心地よく、安心して過ごせる環境整備の配慮がされている(グループホームの場合)利用者一人ひとりの居室について、馴染みの物を活かしてその人らしく暮らせる部屋となるよう配慮されている(小規模多機能の場合)宿泊用の部屋について、自宅とのギャップを感じさせない工夫等の取組をしている	それまでの生活習慣が継続できるよう、本人や家族と相談しながら、馴染みの物を使用するなど、その人らしく安心して生活できるよう支援している。	居室はベット・クローゼット、トイレが設置されている。窓が大きく明るい開放感のあるつくりになっている。使い慣れた家具・テレビ・携帯電話等を持ち込み、その人らしい居室づくりをしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人一人の出来る事、手助けの必要な事の見極めを行い、それぞれに即した安全で自立した生活支援に取り組んでいる。		